

◆ 検定試験 と 競技大会 の ちが い ◆

このふたつは一見するとよく似ていますが、実際は細かな点において形式や目的が異なります。どちらとも制限時間以内にすべての問題を正解することが理想であるのは当然ですが、とりわけ競技会の場合には問題数が圧倒的に多いため、珠算スキルが相当高い生徒でも途中で時間切れとなることが普通です。

先月の検定試験では答えの数字は合っているのにコンマがないために不合格となったケースがありました。これは検定と競技会のルールを取り違えてしまったことが原因。分かっているようだけど、細かな点は分かっていない検定と競技会の違いを今一度、きちんと整理してみましょう。

- 検定試験…「そろばん」「あんざん」で定期的に行う試験のこと。当塾では「そろばん」は7級から、「あんざん」は6級からは検定試験に合格しないと次に進級できないシステム。
- 競技大会…毎月実施しているアバカスサーキット (F1・F2)、8月と12月に行うチャレンジ通信大会など。

◆ 数字 検定は0と6、7と9などどちらにでも読めてしまう

紛らわしい数字は基本的に✖、競技会は検定に比べると基準はかなり緩やか。

◆ コンマ 検定では4級まではコンマは不要、3級以上は必要。競技会は基本的に要らない場合が多い(付けても○となるが、時間短縮のため普通はつけない)。

◆ スキル ともに正しく、はやく計算することは当然だが、より問題数の多い競技会は検定以上にスピードが求められる。競技会ではそろばん問題でも暗算力を活用すると更にはやくなる。

◆ レベル 例えば「そろばん」4級検定のかけ算では 85×13 や $7,584 \times 26,719$ という問題は絶対に出題されない。 $378 \times 1,895$ のように「かけられる数」と「かける数」を足して7ケタの問題のみ出題される。競技会は7級レベルのカンタン問題から1級クラスの難しい問題まで幅広く出題される。

◆ 目標と競争相手 検定はギリでも構わないのでとにかく合格することが第一目標。絶対にイケると確信して目の前の壁を乗り越えようとするマインドが大切。一方の競技会は参加者全体の中での順位がハッキリするので一つでも上の順位を目指し、過去の自分の記録を更新しようとする姿勢が求められる。

* それぞれの特徴を理解したうえで実力がフル発揮できるよう、日ごろの練習時から集中しましょう。

数	字
コ	ン
ス	キ
レ	ベ
目	標
競	争
相	手

検定試験	競技大会
読めない場合は×	多少は大目にみる
3級以上は必要	基本的に不要
正確性	正確性+スピード
同等レベル問題	ピラミッド方式
合格	順位
自分自身	他者+過去の自分

◆ あんざんチャレンジ通信競技大会 入賞者 ◆

8月に実施した競技会で、金賞・銀賞・銅賞を取った生徒の皆さん。みんな、とても良い表情を浮かべています。もうチョットで入賞できた人も、とても入賞には手の届かない人も、大丈夫ですよ～。それぞれ自分の目標に向かって進んでいきましょう。結果と同じくらいに努力を続ける過程が大切です。

